

飛翔

発行責任者
平塚MAC
池田 忠宏



パソコン勉強会

初のオンライン学習会開催

ZOOMは意外と簡単

3月11日にパソコン勉強会が初のオンライン方式で開催されました。当日の様子は、飛翔編集員、企画提案者、参加者、講師からの感想をいただきました。

活動センターと自宅をリモートで接続

これまでパソコン勉強会は、活動センター会議室で講師の杉山洋雄さんより指導を受けていました。今回は、コロナ禍で一挙に有名になったZOOMを平塚MACでも活用してみようということになり、3月11日にオンライン



参加者の顔ぶれ(PC画面より)

学習会が開催されました。当日は、活動センターに7名リモートで9名の計16名の参加となりました。事前に杉山洋雄さんより送られた案内メールのURLを開くことで、立上げ自体はスムーズに行きました。学習会の内容は、リモート参加者からの画像の見え方の確認、各種機能の説明、画面共有の仕方、挙手による質問の方法などの講義と質疑でした。

今回は初めてと言うことで、オンライン会議がどの様なものか体験することをメインに行いましたが、ZOOM無料版は使いながら慣れていけばよいと思いますので、

参加者の感想

2時間楽しく過ごしました

2時間楽しく過ごしました。メールとは違うミーティングの味は忘れないでしょう。少しは自習をして、コロナ禍で会えない孫や友達などの顔を見たいですね。

もっと輪を広げてMACの打ち合わせや学習会などに応用したいものです。良い体験をしました、ありがとうございます。

池田 忠宏 記

講師の感想

講習で把握出来た問題点が四点

準備不足と不手際も多かったのですが、接続がうまくいき、皆さんの画面共用も容易にできました。また、実際に使ってみての問題点が把握できたことで、初期の目的は達成でき良かったと思います。

- ① 活動センターに多人数で
- ② 音声は発言者のみミュート解除(マイクオン)とし、他の参加者はミュートが聞きやすい。
- ③ 今回3人以上の4分制限で、再接続を余儀なくされてしまいました。2名の場合は無制限ですので、活用されると良いです。
- ④ ZOOMソフトの事前インストールは接続トラブルが少ないことが解りました。

提案者の感想

実施して良かった後は使い慣れ

準備段階から、本番と本当にご苦労様でした。色々ありましたがりあえず良かったのではと思っています。後は使いながら慣れていけばよいと思いますので、

世話人 中村 輝夫 記

当面のスケジュール

5月 10日(月)	パークゴルフの会
5月 13日(木)	パソコン勉強会
5月 22日(土)	学習会
5月 24日(月)	パークゴルフの会
5月 27日(木)	パソコン勉強会
5月 7日、14日、21日、28日(金)	囲碁を楽しむ会

今後とも機会があればこの様なオンライン学習会を継続させて行きたいと思っております。その節は今回不参加の方も是非ご参加下さい。個別にサポートが必要な方もご連絡下さい。

杉山 洋雄 記

会員往来

退会会員(3月末)
御崎 孝義さん
事務局としてのご活躍有り難うございました。
新入会員(4月入会)
・武次 秀(タケツグ シゲル)さん。お住まいは平塚市千石河岸です。
・小澤 昌美(オザワ マサミ)さん。お住まいは平塚市平塚です。

東日本大震災から十年

東日本大震災から十年目にあたり、そのとりくみの軌跡を機関紙「飛翔」で振り返ってみました。三月に発生してから、平塚MACは定時総会で「東日本大震災に対する特別決議」をして、義援金を贈ったり学習会で平塚市防災危機管理課の防災講演会や会員の体験談の講演等を行ないました。又、復興支援に対して、このたび石巻市長から礼状のあった会員もいました。

平成二十三年五月十九日発行「飛翔」一一五号から

甚大な被災に心を痛め

定時総会で特別支援決議をする

平成二十三年三月十一日 情にMACの会員も心を痛みに発生した東日本大震災は、め、MACとして何かできた義援金は約十八万三千円を平塚市義援金窓口に届けた。高齢者の多いMACに

被災されたみなさまの心

平成二十三年七月二十一日発行「飛翔」一一七号から

原発事故被害で緊急避難命令

津波の被災地に言葉を失う惨状

平成二十三年六月二十二日 県内知人宅、旅館中の温泉日のMACの学習会で、二名の会員から体験談の報告がありました。

渡辺さんの親族が住んでいた南相馬市は、原発事故の被害拡大に伴ない、緊急避難命令が出されました。

最小限の所持品で、八人の家族が小学校体育館、福島

は海岸から六キロの位置にあり、津波は一キロ手前で止まり難を逃れました。しかし被災地を見渡したときは言葉が出ない程の惨状だったようです。

東日本大震災から十年ある「中央フェスタ」の模範店で、「東日本大震災復興支援」の海産物等の販売や陶器の売り上げを石巻市に贈って頂きました。又、他の平塚MAC会員はバスによる現地視察会に参加された人もいます。

東日本大震災

石巻市長から礼状



2011年3月11日あの日総てが変わってしまいました。「行ってきます」と出てきた家も「行ってらっしゃい」と見送り、見送ってくれた家族も、見慣れた景色も、さっきまで働いていた職場も仲間も。どれか一つ欠けても立ち直れないような出来事を、一度に総てを失ってしまった人が、あの日どれほどいたでしょう。

現状を知れば知るほど、絶望と深い悲しみに暮れる私達に、発災後すぐに国や県、他市町村をはじめ、様々な企業・団体・個人の方々が、国内外から沢山の手を差し伸べてくださりました。こんなにも、私達を想ってくれる温かい手があることを、私達は震災を通じて知ることができたのです。

その温かい手があったからこそ、今日の私達があります。

私達は差し伸べられた手を“決して忘れてはならない”そう心に刻み、生き残った者の使命として後世へと、この震災を伝承し手を差し伸べてくださった方々へ、感謝の心を忘れずに、これからも歩んで参ります。

震災から10年、復興完結まであと一歩となりました。10年目の区切りとして、ここに石巻市民を代表して、心より感謝申し上げます。

令和3年3月 石巻市長 亀山紘

どうぞ皆さんコロナが落ち着きましたら、石巻市にいらしてください。皆さまからのご支援を肌で感じていただければ幸いです。



平成23年定時総会で決議

183,260円

平成23年に義援金贈る